

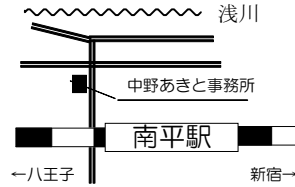


日本共産党市議会議員
中野あきと

みどりと清流



中野あきと事務所ニュース 発行責任者 小山敏正
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350)



生活相談など
お気軽に
お立ち寄り下さい
中野あきと事務所

<https://midoritoseiryu.skr.jp>

—2024年総選挙— 日野市における投票結果

比例区投票結果

(有効投票者数 88,618)

自由民主党	20,485	(32.88%)
立憲民主党	19,954	(22.51%)
国民民主党	11,862	(13.38%)
日本共産党	7,516	(8.48%)
日本維新の会	7,359	(8.30%)
公明党	7,188	(8.11%)
れいわ新選組	6,203	(6.99%)
参政党	3,543	(3.99%)
日本保守党	2,480	(2.79%)
社民党	1,696	(1.91%)
みんなで つくる党	322	(0.37%)

小選挙区投票結果

(投票率 57.54% 前回58.28%)

当選 大河原まさこ (立民)	35,730 (41.45%)
小田原さよし	28,346 (32.88%)
山下ようこ (維新)	14,926 (17.31%)
森ゆういち (参政)	7,188 (8.33%)

※「21区市民連合」を介して確認した共通政策
にもとづき、日本共産党が自主支援した大河
原まさこ候補が当選しました。



◀寒さも加わり真っ赤に熟れた柿。農家の収穫も終わり取り残された柿の実。鳥への「お礼」かも?。

●バス会社の動向は?

すでに京王バスは、日野市内でも



白地域で、支援が求められています。しかし市内の26%の地域が交通空白地域で、支援が求められています。

公共交通は地域住民の足を確保す

●公共交通をめぐる考え方や課題について

日野市は、全都・全国に先駆け、1986年にミニバス「ミニユニティバス」の運行を開始し、現7路線まで拡充するとともに、2001年から丘陵地対応のワゴンタクシーの運行を開始。現2路線を走らせ、そのために総額1億5450万円の補助・支援を行っています。公共交通に関する取り組み・支援は多摩地域で随一とも言えます。

でも、7、8年ほど前から、運転手確保のための人件費補助の拡充を求める話は来ています。



▲ワゴンタクシー
カワセミ号
狭い道路や丘陵地でも走れます

●日野市のミニバスなど公共交通の現状

いま、全国的に住民の重要な移動手段であるバス路線など公共交通の減便、廃止が相次いでいます。日野市をはじめ多摩地域でも、経営事情や運転手不足を理由に、路線バスの事実上の廃止やミニバス

ティーバスの減便・廃止の動きが見られます。日野市のミニバスなどをめぐる状況とともに、公共交通の充実へ向けた課題と展望について、中野議員に聞きました。

◇中野あきと市議に聞く公共交通問題◇ ミニバスなどの維持・拡充について

という役割とともに、環境保護や地域再生などの社会的役割を担っています。ですから、公共交通事業は一般的に、公企業として経営されるか、民間企業であっても参入・退出規制は運賃・料金規制を設ける公益事業として経営されてきました。しかし、国鉄分割民営化以降の規制緩和の中で、運賃収入による自立採算経営を半ば前提とする考え方・制度に変わってしまいました。

ただでさえ収益性の低い事業を自立採算でということになれば、事業が成り立たなくなるのは必然で、この転換が求められています。

(裏面につづく)

＜連載＞不正問題を2度と繰り返さないために！

市政で起こったこと、そしてこれから 【第4回】「河内王国」の大罪

川辺堀之内土地区画整理事業をめぐる①

河内久男元副市長の大罪は市立病院における不正にとどまりませんでした。組合施行の川辺堀之内土地区画整理事業では、さらに大規模で長期にわたり違法・不正行為が行われていました。

報道でご存知のとおり、河内氏は、この川辺堀之内土地区画整理組合に対して、日野市が支出した補助金をめぐる詐欺容疑で逮捕・起訴され、2022年(令和4年)の控訴審で、懲役2年6月、執行猶予4年の有罪判決を受け確定されました。

市議会における追及・論戦と、市の調査・解明を通じて、判明した事実や重大な疑惑、問題点は少なくとも以下3点に及びます。

第一に、総額3億7500万円に及び市助成金支出をめぐる不正。

第二に、総勢32人の区画整理関係者に対する総額7億3600万円に及び報酬の不正。

第三に、談合が疑われる工事入札をめぐる問題点などです。

その背景には河内氏主導のもと、自身の区画整理人脈、企業公社人脈、あるいは業者人脈をフル稼働させていた状況が浮かび上がりました。河内氏は、8年間で総額2億1500万円もの報酬を受け取り、そのうち少なくとも1億8300万円は、組合理事会の承認なく得た報酬として組合から返還を求めて提訴されています。このことは、令和2年8月に行われた第23回総会で弁護士等から報告され、「理事長相談役(河内氏)が組合会計の全てを牛耳り不正支出が理事らに分からないように巧妙な手口で支出させていたことが今回の不正支出の原因」と説明されました。

(つづく)



中野あきと

モノレールへのシルバーパス適用 ミニバスなどへの都の財政支援 市民が提出した請願、自公などが不採択に

市民の方からコミュニティバスに対する都の支援やモノレールへのシルバーパスの適用を求める請願が、今年の9月市議会に出されました。ところが自民、公明、チームみらいなどが反対し不採択にしまいました。

モノレールへのシルバーパスの適用は小池都知事が公約に掲げ、コミュニティバスへの都

の支援は、日野市自身も強く要望していることです。

そういう当たり前で切実な請願を、自公、チーム未来などは、モノレールの経営状況を理由にし、公明に至っては、東京都はすでに対策をとっているからという理由で反対、請願を不採択にしまいました。

●（表面つづき） ミニバスなど公共交通の 維持・拡充へ向けた見通 しや展望について

しかし時代は動いています。ようやく国も「交通事業が独立採算性を前提として存続することとは困難になっており」「交通崩壊」が起きかねない」との認識を示すようになり、欧州諸国のように、国や都道府県などによる財源確保の必要性が明らかになってきています。

総選挙の民意によって自民一強体制が崩壊し、国民の声で政治が動く可能性が切り開かれています。国や東京都の財政支援による公共交通の抜本拡充を実現させていくために、国会でも、地方議会・日野市においても、党派を超えた共同を広げ、国を動かしていきたいと思っています。



《お知らせ》 健康保険証は12月以降も使えます

◆12月2日以降、現行（紙）の健康保険証は発行されませんが、国民健康保険は来年7月31日まで、協会けんぽは来年12月1日まで現行の健康保険証は使えます。

それ以降は、マイナ保険証がない方には、従来の保険証に代わり「資格確認証」が送られてきますので、引きつづき医療が受けられます。

◆マイナ保険証をお持ちの方は「資格情報のお知らせ」（75歳以上の方には「資格確認証」）が届きます。なお、マイナンバーカードの作成、保険証利用登録は任意です。（2024年11月）



▲高幡不動尊菊まつり
今年は猛暑のため出展が少なかったそうです。異常気象の影響はここにも。



こんにちは
都議会議員
清水とし子です

総選挙のご支援
ありがとうございました

10月27日投開票で行われた総選挙は、自公が過半数割れと大敗し、裏金政治への厳しい審判が下されました。衆議院東京21区（立川市、日野市、八王子市の一部）では、立憲民主党の大河原まさこ候補が自民党を破って当選。これで、日野市、立川市では国会議員、都議会議員ともに自民党の議席がなくなりました。また、21区の八王子地域では大河原票が自民党候補の2倍ちかくに上りました。

市長選挙や都知事選挙、ピースパレードなど、途切れることなく築かれてきた、市民と野党の共同の力でつかんだ勝利だと思います。この共同を来年4月の日野市長選挙、7月の都議会議員選挙・参議院選挙の力にしていきたいと思います。

一方、日本共産党は小選挙区1議席、比例7議席で、合計8議席にとどまり、改選前の10議席から後退、宮本徹議員、高橋ちづ子議員の議席を失ったことは本当に残念でなりません。いま、さまざまなみなさんから率直なご意見をお聞きしています。しっかりと分析し、教訓を引き出して、次の選挙に生かしていきたいと思います。

ご支援いただきましたみなさんに心から感謝を申し上げますとともに、引き続き公約実現に全力を尽くします。ありがとうございました。

トピック&ニュース

◆平山小学校が金賞受賞

10月13日、NHKホールで開催された「全国学校音楽コンクール」で、市内の平山小学校が金賞を受賞しました。

12月26日（木）ひの煉瓦ホールで、平山小合唱団による記念のコンサートが行なわれます（詳細は広報ひの12月号で）。

◆日野市役所に「おくやみ窓口」

ご遺族に寄り添う窓口をめざし10月1日より開設されています。1カ所の窓口で手続きができ、住所やお名前も何度も書かずに手続きが済ませます。

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円

〔無料法律相談日〕2024年12月

（お申込み）☎042-582-1042
わたなべ三枝・清水とし子事務所

- 5日（木）午後6時～8時
ちかざわ美樹事務所
- 12日（木）午後1時～3時
市役所6階共産党控室

短信

共産党の政策は正論だけでなく有権者になかなか届かない（新内節の家元・岡本宮之助さん）。共産党の印象はど真面目で不器用。語る言葉が難しいからちゃんと伝

わらない（哲学者で作家の永井玲衣さん）。▼総選挙最中の「しんぶん赤旗」に、激励のコメントと共に寄せられた助言である。岡本さんは「共産党アレルギーのある方や無党派層にもどう働きかけるかが課題」だと。永井さんからは「手のひらサイズの大きすぎない言葉」とのご指摘を頂いた▼ご期待に背く選挙結果。心からお詫びすると共に、政治を前に進めるために、改めてお力添えをお願いする次第だ。併せて不器用な党への助言、ご意見もぜひお寄せ頂きたい▼裏金問題の発端は「赤旗」のスクープ。加えて最終盤、裏金非公認候補への政党助成金2千万円の支給を暴露。自公の反転攻勢を頓挫させた▼開票日の夜、各党の議席予想が流れ始めた直後から、「赤旗ありがとう」のメッセージと共に購読の申し込みが殺到。その数は党本部だけでも2日余で千人を超えた▼権力を監視するという報道の在り方が問題となっている昨今、「しんぶん赤旗」の果たさなければならぬ役割を改めて認識した▼選挙の結果は自民一強体制にノーの審判が下り、国民が新しい政治を追求する時代となった。国会を熟議の場に変えると共に論戦力を更に磨き、託された公約実現に全力を上げねば。（K）